

件 名

第31回全国産業教育フェア埼玉大会について

提出理由

第31回全国産業教育フェア埼玉大会の実施結果について、別紙のとおり報告します。

概 要

- 1 目的

- 2 大会概要
 - (1) 開催日・場所
 - (2) 実施内容
 - (3) 大会映像資料

- 3 成果・次年度以降の埼玉県産業教育フェアに向けて

第 31 回全国産業教育フェア埼玉大会

1 目的

- 全国の専門高校等の生徒の学習意欲や産業界、教育界、国民一般への専門高校等の魅力的な教育内容について理解・関心を高める。
- 新たな産業教育の在り方を探り、新しい時代に即した専門高校等における産業教育の活性化を図り、その振興に資する。

2 大会概要

(1) 開催日・場所

- 令和3年10月30日（土）
- ウェスタ川越、埼玉県立川越総合高校
- キャッチコピー「夢と技術 彩の国から未来へ」
- オープニングアトラクション

秩父農工科学高校^{ちちぶやたいばやしほぞんぶ}「秩父屋台囃子保存部」による秩父屋台囃子
熊谷商業高校「バトン部」によるダンス



秩父屋台囃子



バトン部によるダンス

(2) 主な実施内容

- ファッションショー
新座総合技術高校 服飾デザイン科生徒



ファッションショーの様子①



ファッションショーの様子②

- 講演
株式会社マザーハウス
代表取締役社長兼チーフデザイナー 山口 絵理子 氏
演題「志をかたちに 一歩踏み出す勇氣
～途上国から世界に通用するブランドをつくる～」



山口氏講演の様子

- 生徒交流イベント
Google for Education
アジア太平洋地域マーケティング統括部長 ミラー スチュアート 氏
テーマ「これからの学びについて」
～産業教育を学ぶ高校生に必要なスキルとは?～



生徒交流イベントの様子

○ 作品展示（※参加校 87 校）

- ・ 幸手桜高校による動画配信
幸手市について、学校紹介、地域とのつながり、生徒作品紹介 他



作品展示の動画配信①



作品展示の動画配信②



作品展示（HPのQRコード）

○ 体験動画

- ・ 会場で実施する予定だった体験をホームページから紹介



体験紹介動画のレイアウト図（HP）

○ 企業連携による体験コーナー

- ・ 「渋沢栄一の軌跡VR（仮想現実）体験」
リコージャパン株式会社&浦和工業高校、浦和商业高校
- ・ 「こどものくにVR（仮想現実）体験」
リコージャパン株式会社&浦和工業高校、鴻巣女子高校



渋沢栄一の軌跡VR体験の様子

○ ネット販売（全国の参加専門高校26校のうち県内参加校8校）

- ・ 秩父農工科学高校 「第3のみつ（はちみつ）」 「いちごジャム」
- ・ 川越総合高校 「たましやもカレー」
- ・ 深谷商業高校
「渋沢栄一翁が愛したオートミールクッキー」 他



こどものくにVR体験の様子

○ 作品・研究発表

- ・ 進修館高校「行田學における3年間の取組」 他

○ 意見・体験発表

- ・ 常盤高校
「2食でも効果的エネルギーを摂取できるメニューを提案します！」 他

- 彩の国商業高校生渋沢栄一シンポジウム
県内の商業高校生による渋沢栄一翁の研究の成果発表
埼玉大学教授によるシンポジウムの開催
- 各種コンテスト・競技大会 等
 - ・ 第20回全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト
 - ・ 第29回全国高等学校ロボット競技大会埼玉大会
 - ・ 第41回全国高校生プログラミングコンテスト
 - ・ 全国商業高校生リテールマーケティング・コンテスト
 - ・ 全国高校生クッキングコンテスト
 - ・ 全国高校生介護福祉研究発表会
 - ・ 夢の電車イラスト・アイデア弁当コンテスト



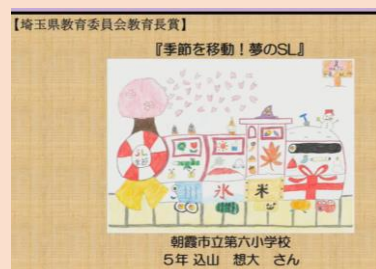
フラワーアレンジメントコンテスト審査会



ロボット競技大会表彰式



クッキングコンテスト表彰式



夢の電車イラストコンテスト
埼玉県教育委員会教育長賞作品



アイデア弁当コンテスト
埼玉県教育委員会教育長賞作品

(3) 大会映像資料

- 大会当日の様子
- 生徒実行委員会の2年間の活動
 - ・ オンライン会議 (14回)
 - ・ 子ども霞が関見学デーの参加
 - ・ テレビ埼玉の出演、TOKYO FM、NACK 5のラジオCM
 - ・ ホームページ、ツイッターの開設
- 舞台裏

3 成果と次年度以降の埼玉県産業教育フェアに向けて

(1) 成果

- 多チャンネルでのL I V E配信及び大会後のアーカイブ配信による、新しいイベントスタイルの確立
- VRを取り入れた体験
- ジャムや缶詰など生徒の学習成果物のネット販売 (※全国に発送)
- 大会HPから、大会後の全国の専門高校等の取組を発信

※ 大会参加者

- ・ 大会当日の参加者
約1.2万人 (※HPアクセス数 8,570 L I V E配信視聴者数 2,150人)
- ・ 大会後のHPアクセス数 21,807件
(※令和3年11月1日(月)～令和3年12月15日(水))



大会ホームページ

(2) 次年度以降の埼玉県産業教育フェアに向けて

- 作品展示、発表会等、オンライン配信可能なプログラムと集合型で実施するプログラムのハイブリッド型開催の検討
- 他会場をつないでのL I V E中継など、多くの方が参加できる体制づくり
- 企業連携など、専門高校生等が、最先端の技術に触れる機会の確保
- 戦略的な広報活動の継続及び更なる工夫・改善（ターゲット層、場所、時間、タイミング等）

(※本大会で実施した広報活動)

- ・ ツイッターの開設
- ・ テレビ埼玉の出演（ニュース、情報番組）
- ・ TOKYO FM、NACK 5 のラジオCM
- ・ ダイジェスト版での番組放送 他



テレビ番組での出演の様子



ツイッターの開設